Title	地域の開放と持続可能性をめざしたエコツーリズムの管理について
Author(s)	敷田, 麻実; 森重, 昌之; 末永, 聡
Citation	日本観光研究学会2002年度総会・シンポジウムポスターセッション
Issue Date	2002-05
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/34796
Туре	conference presentation
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	1184_2.pdf (ポスター)





地域の開放と持続可能性をめざしたエコツーリズムの管理について

(目的) エコツーリズム管理・政策立案の ために、新しいモデルの提案!

本研究ではエコツーリストの受入と、地域の自然環境や生態系の持続可能な利用の両立を実現するエコツーリズムの管理モデル(敷田・森重・末永のCONPサーキットモデル)を提案した。

金沢工業大学環境システム工学科 敷田 麻実パシフィックコンサルタンツ株式会社 森重 昌之 北陸先端科学技術大学院大学 末永 聡



マスツーリズムとちがい、地域の 自然環境や社会に影響を与えない と期待されていたが・・・・・



エコツーリズムもやっぱり地域の自然環境や、 社会に影響を与えてしまう・・・・・・

But

地域外からのエコツーリストの 受入が、地域の自然環境や社会 にとって負荷になることがある

「旅の恥はかきすて」型のエコップーリスト

エコツーリストの 受入

しかし、注意深い管理 によって 両立できるのでは?

地域の自然環境や生態系 の持続可能な利用





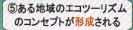
エコツーリズムの管理のポイント

- ①地域外からのエコツーリストの来訪を前提(エコツーリズムも観光の一形態)
- ②自然環境や生態系は常に変化しているので、順応的な管理が必要
- ③自然環境や生態系に関する管理者の知識は不完全であり、学習が常に必要
- ④エコツーリストの利用も変化する(社会経済や自然環境・生態系への価値認識の変化によって)

Answer!

エコツーリズムのサーキットモデル

敷田・森重・末永モデル(CONPモデル)



③学習 (知識 共有) ②エコツーリズムに関する関係 者のネットワークを形成する

Networking

Conceptualization

U COLOR

↓発信

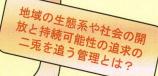
Presentation

④地域のエコツアー の開始(<mark>発信</mark>)

Copyright© 2002 敷田·森重·末永

Opening store

①エコツーリズムに関心 のある関係者が現れる (店を開く)





- ①エコツーリストによる管理へのインプット(知識を活用)
- ②定期的な学習
- ③連続的な知識の創造プロセス (「ナレッジ・マネジメント」)

優れたエコツーリズムを創出しようと考えている地域における政策立案のモデル

1

このモデルに基づいたケーススタディを 実施予定 北海道黒松内町、石川県白 峰村、西表島、そのほか